

富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第306号

目 次

学 長 告 辞……………	2	遣決定者……………	10
平成元年度富山大学入学式 学長告辞……………	2	人 事 異 動……………	10
関 係 法 令……………	3	学 内 諸 報……………	10
学 内 規 則……………	3	富山大学学長候補者選挙……………	10
富山大学教育学部規則の一部改正……………	3	名誉教授の称号授与……………	11
富山大学公開講座規則の一部改正……………	4	地域共同研究センター長の選出……………	11
元号を改める政令(昭和64年政令第1号)の施行に伴う		叙 位……………	12
富山大学の関係規則等の整理に関する規則……………	5	叙 勲……………	12
諸 会 議……………	8	海外渡航者……………	12
学 事……………	9	職 員 消 息……………	12
平成元年度富山大学(学部, 専攻科, 大学院研究科)		主 要 行 事……………	15
入学式の举行……………	9	資 料……………	18
平成元年度科学研究費補助金(国際学術研究)の内定		平成元年度入学者数……………	18
者……………	10	平成元年度学部等学生数……………	20
国立大学・学部附属学校英語担当教官海外研修講座派		平成元年度聴講生, 研究生数……………	22

学 長 告 辞

平成元年度富山大学入学式学長告辞

ただいま、入学を許可されました1,567名にのぼる皆さんは、本学の各学部、大学院及び専攻科へめでたく入学された方々であり、本学の教職員一同、心から祝福を申しますと共に歓迎の意を表します。難関を突破して、めでたく入学された諸君や御家族の方々のお喜びはさぞかしと思います。選ばれた者の幸せと誇りを自覚すると共に、本日の感激を忘れることなく、これから4年間の充実した悔いのない大学生活を送ってほしいと思います。

さて、昭和54年に始まって11回目を迎えた共通一次試験が今年で終わることになり、諸君が最後の受験生ということになりました。入試改革の決め手として期待されて登場したはずでありましたが、大学の序列化や学生の均質化など思わぬ弊害が出て驚きました。さらに今年は理科の科目間格差が大き過ぎたため、二次出願の直前に「生物」と「物理」の得点を大幅にカサ上げして受験生を混乱させる一幕もあり遺憾なことでありました。

ところで、今年は戦後の教育改革による新制大学が発足して40年になります。旧制高校や専門学校がそろって新制大学に昇格をし、その数の多さと共に、大学生の大量生産による質の低下が心配されました。それが大学進学率10%以下の時代のことであります。結果的には、こうして養成された多数の人材が、その後の高度経済成長を支えたのは御存知のとおりであります。現在、大学進学率が36%をこえ、この40年間に高学歴化は大きく進展しました。特に、近年急速に学歴が持つ効用、価値への信仰が高まってきた背景には、急速に進んでいる産業構造の変化に対して、「大学を出て実力をつけなければ対応できないのではないか」という不安な気持ちがあると思われれます。特に、企業内で終身雇用制や年功序列がゆらぎ始めていることに対する御家族の不安が経済的余裕も手伝って、これまで以上に大学進学へと駆り立てていると思われれます。その上、ここ数年来、女子の大学進学率が増大し、短大を

た大学生のうち4人に1人は女子大生で、それも4年制大学に通う女子大生が急速に増えています。男女雇用機会均等法による雇用制度の変化が進むのを見て、女子の社会進出のよい機会と考えている結果だと思えます。一方、高学歴化の最大の受益者は国や社会であり、我が国の経済規模、産業規模が大型化し、構造が多様化し、国家社会の活動分野が広範囲になれば、いろんなレベルでの多数の人材が必要であります。高学歴化は労働力の質を高めるばかりでなく、有効需要をふくらませ、さらに社会の安定にも大きく貢献しているわけであります。

しかしながら、近年大学の大衆化と共に、学生の質の低下や大学のレジャーランド化が批判されております。量が多くなれば、平均値が下がるのは当然であります。従来との比較において、質の低い部分が強調され、批判の対象とされている一面的なところがあると思えます。当然のことながら、従来にも増して、質の高い部分もあるのであって、今の大学生がおしなべて質が低下しているわけではありません。ただ、個性や希望を無視した進路指導を受けて、自分の志望と違った学部や学科に入学して、その結果、大学生活の目標を見失い、「やる気」をなくす人もいるでしょう。心ならずも第二、第三の道を歩み出そうとしている人でも、しかしながら、もしかするとそれが最善の道だったのかも知れません。いや、そうするべく、これからの大学生活を充実させるのが肝心だと思います。同じ世代のうち4割にみえない諸君だけが4年間の大学生活を過ごせることの有り難さを改めて認識し「何となく過ごす」には、あまりにも貴重な学生時代を新たな目的意識を持って頑張してほしいと思います。

大学教育は本来、個々の学生がそれぞれ目的とする専門知識を習得し、さらに自らの人格を完成したいと願う本質的な学習意欲にこたえ、これを助けるものでなくてはなりません。しかしながら最近の学生は、自分で考え、判断し、行動し学習に取り組む積極性にかけるうらみがあり、高等学校までの路線を継続して、

教えられるだけで満足する受身の勉強に終始する傾向が強いのは残念であります。大学に入学したことは、文字どおり出発点であって決してゴールではありません。これからは受験勉強ではやれなかった多様な視点に立った真の学問の探究や人間形成に全力を傾注してください。御承知のように、来るべき21世紀は国際化と情報化の時代であります。今日「我が国の国際化」を模索するなかで、市場開放、経済協力、技術や文化の交流が叫ばれ、人、物、金の交流が盛んになろうとしています。唯それだけで、国際化といえるのでしょうか。国際理解は異文化の交流から始まりますが、自国の歴史、文化、社会をしっかりと把握せずに外国のことを深く理解するのは不可能であります。また、他国の文化に精通するばかりでなく、国の違いを乗り越えて人間と人間の心の触れ合い、同じ地球人という仲間

意識を持つことが国際化の第一歩だと思います。人が動くかわりに、情報が動くのが情報化社会であります。情報化が進展する程、人間的触れ合いや意志の疎通が必要だといわれています。国際化、情報化時代に対処するために、これからの大学生活において十分な心の準備をしなければなりません。悔いのない充実した学生生活を送ることを期待してやみません。

最後になりましたが、大学院や専攻科へ進学した諸君は、それぞれの専攻分野において研鑽を積み、各自の個性と創造性を伸ばし、高度の専門職業人としてはずかしくない一層の学識と広い視野を身につけることを期待します。

簡単であります。これをもってお祝いの言葉といたします。

関係法令

法律		に関する省令の一部を改正する省令（文部19）	4・1
○旅券法の一部を改正する法律（23）	4・18		
政令		規則	
○旅券法施行令（122）	4・28	○元号を改める政令（昭和64年政令第1号）の施行に伴う関係人事院規則の整理に関する人事院規則（人事院1-16）	4・20
省令			
○国立の学校における授業料その他の費用			

学内規則

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成元年4月14日

富山大学長 大井 信一

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改定する。

別表Ⅰの備考第2項中「小学校教諭普通免許状」を

「小学校教諭の1種免許状又は2種免許状」に、「中学校教諭普通免許状」を「中学校教諭の1種免許状又は2種免許状」に改める。

別表Xを次のように改める。(別添のとおり)

附 則

この規則は、平成元年4月14日から施行し、平成元年4月1日から適用する。

別添

別表X

取得できる免許状の種類

課 程	免 許 状 の 種 類	
小学校教員養成課程	小学校教諭1種免許状	
中学校教員養成課程	中学校教諭1種免許状の教科	高等学校教諭1種免許状の教科
	国 語	国 語
	社 会	社 会
	数 学	数 学
	理 科	理 科
	音 楽	音 楽
	美 術	美 術
		工 芸
		書 道
		保 健 体 育
	保 健 体 育	
	保 健 体 育	
	家 庭 学	
	家 庭 学	
	農 業	
	農 業	
	職 業 指 導	
	職 業 指 導	
	英 語	
	英 語	
	技 術	
	技 術	
養護学校教員養成課程	養護学校教諭1種免許状	
幼稚園教員養成課程	幼稚園教諭1種免許状	

備考 教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得したときは、所属課程以外の免許状をあわせて取得することができる。

▶ 富山大学教育学部規則の改正理由

教育職員免許法等が改正されたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学公開講座規則の一部改正

富山大学公開講座規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成元年 4月21日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学公開講座規則の一部を改正する規則

富山大学公開講座規則(昭和57年11月12日制定)の一部を次のように改正する。

第7条第2項中「3,000円」を「4,120円(うち、消費税相当分120円)」に、「600円」を「820円(うち、消

費税相当分20円)」に改める。

附 則

この規則は、平成元年 4 月 21 日から施行し、平成元年 4 月 1 日から適用する。

▶ 富山大学公開講座規則の改正理由

平成元年 3 月 24 日付け文生第 22 号・文部省生涯学習局長通知に基づき、公開講座講習料を改定するため、所要事項を改める。

元号を改める政令（昭和64年政令第 1 号）の施行に伴う富山大学の関係規則等の整理に関する規則の制定

元号を改める政令（昭和64年政令第 1 号）の施行に伴う富山大学の関係規則等の整理に関する規則を次のとおり制定する。

平成元年 4 月 21 日

富山大学長 大 井 信 一

元号を改める政令（昭和64年政令第 1 号）の施行に伴う富山大学の関係規則等の整理に関する規則

（富山大学学則の一部を改正する学則の一部改正）

第 1 条 富山大学学則の一部を改正する学則（昭和63年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

附則第 2 項中「昭和64年度」を「平成元年度」に、「昭和65年度」を「平成 2 年度」に改める。

（富山大学発明規則の一部改正）

第 2 条 富山大学発明規則（昭和53年12月22日制定）の一部を次のように改正する。

別紙様式 1 から別紙様式 3 までの規定中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学国際交流事業基金規則の一部改正）

第 3 条 富山大学国際交流事業基金規則（昭和63年11月18日制定）の一部を次のように改める。

附則第 2 項中「昭和65年 3 月 31 日」を「平成 2 年 3 月 31 日」に改める。

（富山大学データベース及びプログラム取扱規則の一部改正）

第 4 条 富山大学データベース及びプログラム取扱規則（昭和63年 5 月 20 日制定）の一部を次のように改める。

別紙第 1 号様式及び別紙第 2 号様式中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学文書処理規則の一部改正）

第 5 条 富山大学文書処理規則（昭和63年 3 月 31 日制定）の一部を次のように改める。

附則第 1 項中「昭和64年 4 月 1 日」を「平成元年

4 月 1 日」に改める。

様式第 3 号、様式第 4 号の 2、様式第 6 号、様式第 7 号、様式第 8 号及び様式第 9 号中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学公印管理規則の一部改正）

第 6 条 富山大学公印管理規則（昭和48年 4 月 13 日制定）の一部を次のように改める。

第 1 号様式及び第 4 号様式中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学組換え DNA 実験安全管理規則の一部改正）

第 7 条 富山大学組換え DNA 実験安全管理規則（昭和61年 2 月 21 日制定）の一部を次のように改める。

別紙様式 1、別紙様式 1 の 2、別紙様式 2、別紙様式 2 の 2、別紙様式 7 及び別紙様式 8 中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学名誉教授称号授与規則の一部改正）

第 8 条 富山大学名誉教授称号授与規則（昭和33年 4 月 25 日制定）の一部を次のように改める。

別紙称号記様式中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学受託研究取扱規則の一部改正）

第 9 条 富山大学受託研究取扱規則（昭和45年 8 月 7 日制定）の一部を次のように改める。

様式第 1 号から様式第 4 号までの規定中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学国有財産使用規則の一部改正）

第10条 富山大学国有財産使用規則（昭和33年9月22日制定）の一部を次のように改める。

別紙第1号様式及び別紙第2号様式中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学教育学部附属学校規則の一部改正）

第11条 富山大学教育学部附属学校規則（昭和41年1月31日制定）の一部を次のように改める。

様式1から様式3までの規定中「昭和」を「（元号）」に改める。

（富山大学における動物実験に関する指針の一部改正）

第12条 富山大学における動物実験に関する指針（昭和63年10月21日制定）の一部を次のように改める。

別紙動物実験計画書中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学学長選考実施細則の一部改正）

第13条 富山大学学長選考実施細則（昭和62年6月26日制定）の一部を次のように改める。

様式第2及び様式第4中「昭和」を「（元号）」に改める。

（富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正）

第14条 富山大学物品管理事務取扱細則（昭和35年4月22日制定）の一部を次のように改める。

別紙第2号様式中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

別紙第3号様式及び別紙第4号様式中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

別紙第5号様式及び別紙6号の2様式中「昭和

年度」を「平成 年度」に改める。

別紙第7号様式及び別紙第8号様式中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

別紙第9号様式中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

別紙第10号様式から別紙第12号様式までの規定中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

別紙13号様式中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

別紙第18号様式及び別紙第19号様式中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

（富山大学身分証明書発行要項の一部改正）

第15条 富山大学身分証明書発行要項（昭和55年2月14日制定）の一部を次のように改める。

別紙第1号様式、別紙第2号様式及び別紙第4号

様式中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

（教育公務員特例法第9条による富山大学評議会が行う審査に関する要項の一部改正）

第16条 教育公務員特例法第9条による富山大学評議会が行う審査に関する要項（昭和57年5月6日制定）の一部を次のように改める。

別紙第1及び別紙第2中「昭和」を「平成」に改める。

（富山大学債権管理事務取扱要項の一部改正）

第17条 富山大学債権管理事務取扱要項（昭和53年9月20日制定）の一部を次のように改める。

別紙第1号書式から別紙第8号の2書式までの規定中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

別紙第14号書式中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

（富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部改正）

第18条 富山大学支出負担行為等事務取扱要項（昭和39年4月1日制定）の一部を次のように改める。

様式第5号から様式第8号までの規定及び様式11号中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第12号から様式第14号の2までの規定及び様式15の2号中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第16号及び様式第16号の2中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第16号の3中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第18号及び様式18の2号中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第19号及び様式第20号中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

様式第21号から様式第22号の2までの規定中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第23号及び様式第24号中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

様式第25号中「昭和 年月日」を「平成 年月日」に改める。

様式第26号中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に改める。

(富山大学奨学寄付金受入れ及び委任経理金経理事務取扱要項の一部改正)

第19条 富山大学奨学寄付金受入れ及び委任経理金経理事務取扱要項(昭和58年3月18日制定)の一部を次のように改める。

様式第1号から様式第5号までの規定中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に改める。

様式第6号から様式第9号までの規定中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

(受験機会の複数化に伴う入学学科の免除に関する取扱要項の一部改正)

第20条 受験機会の複数化に伴う入学学科の免除に関する取扱要項(昭和61年12月1日制定)の一部を次のように改める。

別紙様式中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学職員会館管理運営要項の一部改正)

第21条 富山大学職員会館管理運営要項(昭和55年3月31日制定)の一部を次のように改める。

別紙第1号様式から別紙第3号様式までの規定中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学における予算執行職員の補助者の官職指定に関する内規の一部改正)

第22条 富山大学における予算執行職員の補助者の官職指定に関する内規(昭和61年4月1日制定)の一部を次のように改める。

別紙中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学における出納官吏等の官職指定に関する内規の一部改正)

第23条 富山大学における出納官吏等の官職指定に関する内規(昭和61年6月12日制定)の一部を次のように改める。

別紙様式中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学収入官吏事務取扱内規の一部改正)

第24条 富山大学収入官吏事務取扱内規(昭和41年9月10日制定)の一部を次のように改める。

第5号書式から第6号書式までの規定中「昭和」を「平成」に改める。

第7号書式及び第8号書式中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

第9号書式中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学学内会計監査実施内規の一部改正)

第25条 富山大学学内会計監査実施内規(昭和60年1月18日制定)の一部を次のように改める。

別紙第1号様式及び第2号様式中「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に改める。

(富山大学授業料等免除及び徴収猶予に関する内規の一部改正)

第26条 富山大学授業料等免除及び徴収猶予に関する内規(昭和59年3月12日制定)の一部を次のように改める。

1号様式中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に、「昭和 年 月 入学」を「平成 年 入学」に改める。

2号様式中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に、「昭和 年 月 入学」を「平成 年 月 入学」に、「昭和 年度」を「平成 年度」に改める。

3号様式中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に、「昭和 年 月 入学」を「平成 年 月 入学」に、「昭和 年度」を「平成 年度」に、「昭和 年 月 分を昭和 年 月 日までに納付」を「平成 年 月 分を平成 年 月 日までに納付」に改める。

4号様式中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に、「昭和 年 月 入学」を「平成 年 月 入学」に、「昭和 年 月 から昭和 年 月 までの」を「平成 年 月 から平成 年 月 までの」に改める。
(富山大学附属図書館利用内規の一部改正)

第27条 富山大学附属図書館利用内規(昭和63年3月4日制定)の一部を次のように改める。

別紙様式2及び別紙様式3中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学構内交通規制に関する暫定実施細目の一部改正)

第28条 富山大学構内交通規制に関する暫定実施細目(昭和53年3月31日制定)の一部を次のように改正する。

別紙第1号様式から別紙第2号の3様式までの規定中「昭和」を「平成」に改める。

(富山大学学生守則の一部改正)

第29条 富山大学学生守則(昭和24年11月18日制定)

の一部を次のように改める。

様式(1)から様式(5)までの規定中「昭和 年 月 日」を「平成 年 月 日」に改める。

附 則

この附則は、平成元年4月21日から施行し、平成元年1月8日から適用する。ただし、富山大学物品管理事務取扱細則、富山大学債権管理事務取扱要項、富山大学支出負担行為等事務取扱要項、富山大学奨学寄附金受入れ及び委任経理金経理事務取扱要項、富山大学収入官吏事務取扱内規、富山大学学内会計監査実施内

規、富山大学授業料等免除及び徴収猶予に関する内規の改正規定中「昭和 年度」を「平成 年度」に改める部分の規定は、平成元年4月1日から適用する。

▶ 元号を改める政令（昭和64年政令第1号）の施行に伴う富山大学の関係規則等の整理に関する規則等の制定理由

元号を改める政令（昭和64年政令第1号）の施行により元号が「昭和」から「平成」に改元されたことに伴い、関係規則等の整理を行うものである。

諸 会 議

第9回学長候補者選挙管理委員会（4月10日）

（議 題）

- (1) 予備選挙（再選挙）不在者投票状況について
- (2) 次期学長候補者選挙予備選挙（再選挙）の実施について
- (3) その他

（議 題）

- (1) 平成元年度在来生合宿研修について
- (2) その他

第10回学長候補者選挙管理委員会（4月11日）

（議 題）

- (1) 予備選挙（再選挙）の開票について
- (2) 予備選挙（再選挙）結果の公示について
- (3) 本選挙候補者の公示について
- (4) 本選挙候補者の経歴書の作成及び配布について
- (5) 本選挙選挙案内の作成及び配布について
- (6) その他

平成元年度第1回評議会（4月14日）

（審議事項）

- (1) 平成元年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について
- (2) 平成元年度富山大学理学部物理学科第2次学生募集の合格者の判定について
- (3) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学名誉教授称号授与について
- (5) 再入学について
- (6) 学生の懲戒について

平成元年度第1回共通第1次学力試験実施委員会（4月11日）

（審議事項）

- (1) 富山大学共通第1次学力試験実施委員会規則の一部改正について

平成元年度第1回補導協議会（4月17日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) 平成元年度在来生合宿研修について
- (3) 第34回大学祭について
- (4) その他

平成元年度第1回事務協議会（4月13日）

（議 題）

- (1) 当面する諸問題について

平成元年度第1回トリチウム科学センター運営委員会（4月19日）

（審議事項）

- (1) 富山大学人文学部、理学部、教養部及びトリチウム科学センター防火管理内規の一部改正について

第11回学長候補者選挙管理委員会（4月20日）

（議 題）

- (1) 第9回, 第10回, 委員会記録の確認について
- (2) 本選挙不在者投票状況について
- (3) 次期学長候補者選挙本選挙の実施について
- (4) その他

第12回学長候補者選挙管理委員会（4月21日）

（議 題）

- (1) 本選挙の開票について
- (2) 本選挙結果の公示について
- (3) その他

平成元年度第2回評議会（4月21日）

（審議事項）

- (1) 次期学長候補者について

平成元年度低温液化室運営委員会（4月24日）

（議 題）

- (1) 平成元年度低温液化室運営費等について
- (2) その他

平成元年度第1回入学試験管理委員会・第1回入学者
選抜方法研究委員会の合同委員会（4月25日）

（審議事項）

- (1) 平成2年度富山大学入学者選抜試験の実施に伴う基本方針(案)について

第1回情報処理センター運営委員会（4月25日）

（審議事項）

- (1) 平成元年度当初配分に伴う共通経費について
- (2) 平成2年度歳出概算要求について
- (3) その他

平成元年度第1回体育施設運営協議会（4月26日）

（議 題）

- (1) 第1グラウンドの整備について
- (2) その他

平成元年度第1回附属図書館商議会（4月27日）

（審議事項）

- (1) 平成元年度附属図書館運営費について
- (2) 大型コレクションの要求について

平成元年度第1回トリチウム科学センター研究審査専門委員会（4月28日）

（審議事項）

- (1) 平成元年度学内共同利用について

学 事

平成元年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）入学式の挙

平成元年度富山大学（学部，専攻科，大学院研究科）入学式は，4月10日(月)午前10時30分から富山市公会堂において挙

式典は，1,567名の入学許可宣言にはじまり，学長告辞，部局長紹介のあと，本学学生による合唱及び演奏がアトラクションとして行われました。



平成元年度科学研究費補助金（国際学術研究）の内定者

研究代表者			研究課題	調査研究実施国
所属	職	氏名		
人文学部	助教授	磯部 彰	中国地方劇形成過程の研究	中華人民共和国

国立大学・学部附属学校英語担当教官海外研修講座派遣決定者

所属	職	氏名	派遣期間	派遣大学
附属中学校	教諭	大澤 保	平成元年 7 月 28 日 ） 平成元年 9 月 21 日	ランカスター大学 （連合王国）

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異動内容	任命権者
採用	元. 4. 24	東 三千代		事務補佐員（工学部）	富山大学長
	元. 5. 1	布 村 忠 弘		助教授（教養部）	”
併任	元. 4. 2	作 道 榮 一	教授（工学部）	工学部長・評議員 （元. 4. 2～3. 4. 1）	文部大臣
	元. 4. 25	駒 城 鎮 一	教授（教養部）	評議員 （元. 4. 25～3. 4. 24）	”

学 内 諸 報

富山大学学長候補者選挙

平成元年 3 月 29 日の予備選挙が不成立になったことに伴い、4 月 11 日午前 10 時から 11 時までの間、事務局大会議室において予備選挙（再選挙）が行われ、その結果、次の 4 氏が有効投票の 5% 以上を得たので本選挙候補者に決定された。

大 井 信 一
杉 本 新 平
永 野 弘
本 田 弘

このことにより、本選挙を 4 月 21 日午前 10 時から 11 時までの間、事務局大会議室で行ったが、有効投票の過半数得票者がなく、得票上位 3 名（大井信一、永野

弘、本田 弘）で午後 1 時から午後 2 時までの間、2 回目の投票を行うことになった。その結果、有効投票の過半数得票者がなく得票上位 2 名（大井信一、永野 弘）で、午後 3 時から 4 時までの間 3 回目の投票を行うことになった。その結果、有効投票 293 票のうち 189 票を得た大井信一現学長が再選され、同日午後 5 時から開催された評議会において次期学長候補者に決定された。任期は、富山大学学長選考規則に基づき平成元年 6 月 13 日から 2 年間。

大井学長は、昭和 20 年 10 月台北帝国大学理学部化学科を卒業後、同 23 年 1 月高岡工業高等専門学校講師、同 25 年 4 月富山大学工学部助手、同 26 年 4 月同助教授、

同38年同教授となり、この間、昭和44年10月から同54年4月まで富山大学評議員、同54年4月から同58年4月まで富山大学工学部長及び評議員を併任、同60年6月13日から富山大学長となり今日に至っています。

専門は反応工学，理学博士。



名誉教授の称号授与

平成元年3月31日限り停年退官された方に対し、平成元年4月14日付けで富山大学名誉教授の称号が授与されました。

名誉教授

泉 敏郎

広島文理科大学卒業

文学士



昭和23年3月文部教官として富山青年師範学校勤務を命ぜられ、同25年4月富山大学助手（教育学部）、同27年4月富山大学講師、同37年7月富山大学助教授を経て、同53年4月教授に昇任し、平成元年3月31日限り停年により退職されるまで41年の永きにわたり熱心に学生の教育・指導に専念された。

この間、昭和54年3月から同59年3月まで5年間教育学部附属幼稚園長に併任、同59年6月から同62年5月まで評議員に併任され、幼稚園教育の発展と大学・学部の管理運営に寄与された。

また、研究面では発達心理学の専門分野での研鑽を重ね、研究論文「問題解決についての一研究」をはじめ一連の論文等で多年にわたる研究成果を公表されている。更に、学会等における活動として富山県公立

幼稚園長会の会長、北陸心理学会の副会長等を歴任し、地域の幼児教育、心理学の発展に尽力された。

名誉教授

山崎佳夫

神戸経済大学卒業

経済学士



昭和29年4月富山大学助手（経済学部）、同31年4月富山大学講師（経済学部）、同34年11月富山大学助教授（経済学部）、同46年8月富山大学教授（経済学部）となり35年の永きにわたり終始熱心に学生の教育・指導に専念された。

この間、富山大学経済学部長1期、評議員12年5月を務めるなど本学の管理運営に参画し、本学の充実・発展に寄与された。

更に、本学短期大学部主事2期を務め同短期大学部の教育・研究の発展にも尽力された。

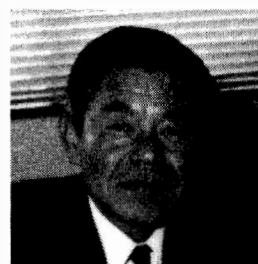
一方、財務会計の教授として研究に従事され、著書3冊論文28編等を発表された他、富山県売薬業及び麻問屋神田家勘定帳に関する研究をも行われ、本学のみならず学術の振興及び地域社会の発展に貢献された。

地域共同研究センター長の選出

宮下和雄地域共同研究センター長の任期が5月20日に満了することに伴い、4月19日(水)開催の地域共同研究センター運営委員会において、次期センター長候補者の選考が行われた。

その結果、全会一致をもって宮下和雄教授が再選された。

任期は、平成元年5月21日から2年間。



叙 位

元本学教授室町繁雄氏は、平成元年4月21日逝去
(享年75才)されましたが、同氏の生前の功績に対し、

同日付けで従三位に叙されました。

叙 勲

4月29日付けで、平成元年春の叙勲が発表され、本
学関係では次の方が受章されました。

勲七等瑞宝章

元文部事務官(警務員長) 長谷川 篤 郎

勲七等宝冠章

元文部事務官(電話交換手) 高 辻 きみ子

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	教授	高木光司郎	アメリカ合衆国	レーザー分光学の研究	元. 5. 1 } 元. 6. 30
	理学部	助教授	川崎 一朗	中華人民共和国	地震学会日中合同大会に出席	元. 5. 27 } 元. 6. 6
海外研修旅行	工学部	助教授	坂井 純一	オ ラ ン ダ	太陽フレア時の高エネルギー 粒子加速についての共同研究	元. 5. 27 } 元. 6. 26

職 員 消 息

◀新任者住所▶

事務局・学生部

学生部次長 瀬 口 博 巳

施設課長 須 藤 一 靖

職員係長 齋 藤 純 一

学生課長 若 泉 拓 美

管理係長 松 永 良 成

講 師 中 村 雅 之
(中国文学)

教 務 係 長 保 正 邦 久

事 務 補 佐 員 西 田 忍
(数学教室)

奨 学 主 任 濱 野 松 男

教育学部

教 授 長 井 真 隆
(理科教育)

文 部 事 務 官 細 田 和 義
(出納係)

講 師 石 井 哲 夫
(器 学)

事 務 補 佐 員 長 多 玄 子
(主, 総務係)

事 務 補 佐 員 川 上 真 由 美
(経, 給与係)

附属小学校

教 頭 橋 本 十 代 一

臨 時 用 務 員 郷 井 良 平
(学生係)

附属中学校

教 諭 堀 江 英 一
(音 楽)

人文学部

教 授 小 澤 浩
(文化構造論)

教 諭 島 隆 之
(技 術)

助 教 授 末 原 達 郎
(文化人類学)

教 諭 岩 田 万 里 子
(保 体)

附属養護学校

教 諭 山 本 隆 司

教 諭 市 川 明 美

附属図書館

総務係長 吉 澤 誠

附属幼稚園

教 諭 中 田 良 子

文部事務官 神 名 智 子

(参考係)

経済学部

助 手 菅 原 理 恵 子
(経営学)

《住所変更》

理学部

助 手 古 田 高 士
(応用解析学及び
電子計算機論)

人文学部

助 教 授 草 薙 太 郎

文 部 技 官 澤 田 佳 子
(数学科)

教 授 渡 邊 洋

工学部

助 手 西 野 精 一
(動力熱工学)

助 教 授 村 井 文 夫

助 手 土 屋 隆 生
(通信工学)

教育学部

助 教 授 濱 名 正 道

事務補佐員 大 谷 直 美
(電気理論・電子工学)

事務補佐員 石 坂 千 賀 子

臨時用務員 片 山 良 一
(用度係)

理学部

助 教 授 金 森 寛

トリチウム科学センター

文 部 技 官 三 宅 均

教 授 對 馬 勝 年

《改姓》

教養部

助 教 授 小 柳 津 広 志

教育学部

事務補佐員 石 坂 千賀子(旧姓 菅原)

主 要 行 事

本 部

4 月

4～5日 第2次募集入学手続

5日 部課長会議

10日 入学式(於:富山市公会堂)

学長候補者選挙管理委員会

10～11日 新入生オリエンテーション(教養部,保健
管理センター,附属図書館)

11日 学長候補者選挙予備選挙(再選挙)投票日

第1回共通第1次学力試験実施委員会

11～12日 平成元年度国立学校施設実態調査説明会
(於:東京医科歯科大学)

12日 学部オリエンテーション

新入生健康診断

13日 事務協議会

第1回会計係長会議

14日 第1回評議会

18日 部課長会議

19日 工学部(3,4年)定期健康診断

20日 学長候補者選挙管理委員会

21日 学長候補者選挙本選挙投票日

第2回評議会

学長候補者選挙管理委員会

部局長懇談会

厚生補導関係事業説明(於:文部省)

21～22日 営繕関係要求説明(於:文部省)

25日 東海・北陸地区国立大学等施設部課長会議
(臨時)(於:名古屋大学)

26日 名誉教授称号授与式

27～28日 第75回東海・北陸地区国立学校等会計部課長
会議(於:福井医科大学)

人 文 学 部

4月4日 事務連絡会

6日 学部教務委員会

7日 人文科学研究科教務等検討委員会
教授会

人事教授会

人文科学研究科委員会

学部図書委員会

学部補導委員会(持ち回り)

10日 人文科学研究科新入学生オリエンテーション

12日 新入学生オリエンテーション・健康診断
センター構想小委員会

前学期授業開始

14日 係長会議

19日 学部図書委員会

教授会

人事教授会

学部職業補導委員会

21日 センター構想小委員会
26日 学部将来計画委員会・予算委員会合同委員会
学部補導委員会
学部教務委員会

10日 「夜間主コース」新入生オリエンテーション
11日 「昼・夜間主コース」前学期授業開始
学部教務委員会
12日 「昼間主コース」新入生オリエンテーション
「昼・夜間主コース」新入生健康診断
日本海経済研究所運営委員会
14日 助手室業務運営委員会
学部教務委員会（持ち回り）
係長会議
18日 コンピュータ管理運営委員会
19日 学部入学方法検討委員会
人事教授会
教授会
24日 学部職業補導委員会
25日 夜間主コース運営委員会
26日 学部施設整備委員会
27日 学部補導委員会

教育学部

4月4日 附属小学校第一学期始業式
5日 附属小学校入学式
教務委員会、補導委員会
教務・補導合同委員会
教授会
人事教授会
6日 授業開始
附属養護学校第一学期始業式
7日 附属養護学校入学式
附属中学校第一学期始業式
附属幼稚園第一学期始業式
8日 附属中学校入学式
11日 附属幼稚園入園式
12日 新入生オリエンテーション及び健康診断
人事委員会
19日 学部カリキュラム委員会
学部予算委員会
21日 情報教育課程運営委員会
25日 学部教務委員会
26日 学部補導委員会
人事委員会
27～28日 平成元年度全国国立大学教育学部長会議
(於：琉球大学)

理学部

4月4日 事務連絡会
6日 教授会
人事教授会
12日 新入学生オリエンテーション・健康診断
13日 授業開始
14日 学部図書委員会
係長会議
25日 学科主任会議
27日 動物実験委員会
28日 入試改善委員会
学部補導委員会

経済学部

4月1日 学部補導委員会（持ち回り）
4日 係長会議
5日 学部教務委員会
学部将来構想検討委員会
6日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
7日 「夜間主コース」専門教育課程移行オリエンテーション

工学部

4月5日 学部教務委員会
7日 学部補導委員会
教授会
工学研究科委員会
専任教授会
12日 新入生オリエンテーション・新入生健康診断
選考委員会
13日 前学科授業開始

- | | | | |
|-----|----------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 17日 | 係長連絡会 | 20日 | 図書館業務電算化ワーキンググループ打合せ会 |
| 19日 | 学科主任会議
学部施設整備委員会
学部生定期健康診断 | | 係長事務打合せ会 |
| 26日 | 教授会
専任教授会 | 25～26日 | 第40回北信越地区国立大学図書館協議会
(於：富山医科薬科大学) |
| | | 27日 | 平成元年度第1回商議会 |

教 養 部

- 4月3日 補導委員会
5日 教務委員会
教授会
10日 教養部オリエンテーション
11日 前学期授業開始
夜間主コース前学期授業開始
12日 補導委員会
将来計画委員会
教務委員会
19日 人事教授会
教授会
26日 図書委員会
紀要委員会
教授会

附属図書館

- 4月4日 係長事務打合せ会
10日 平成元年度第1回図書館業務電算化委員会
17日 係長事務打合せ会

トリチウム科学センター

- 4月19日 持回り平成元年度第1回トリチウム科学センター運営委員会
28日 平成元年度第1回トリチウム科学センター研究審査専門委員会

地域共同研究センター

- 4月15日 吉田工業株式会社関係者視察
19日 地域共同研究センター運営委員会
21日 科学技術庁及び新技術開発事業団関係者視察
27日 財団法人テクノマート関係者視察

保健管理センター

- 4月10日 新入生オリエンテーション
12日 新入生健康診断
19日 定期健康診断(工学部3, 4年生, 大学院生)

資 料

平成元年度入学者数

学部	学科・課程	募 集 人 員	入学者数	入 学 者					
				男	女	県 内	県 外	備 考	
人 文	人 文 学 科	95	95	31	64	48(42)	47(22)		
	語 学 文 学 科	95	95	22	73	49(44)	46(29)		
	計	190	190	53	137	97(86)	93(51)		
教 育	小学校教員養成課程	100	100	29	71	69(49)	31(22)		
	中学校教員養成課程	50	50	24	26	24(17)	26(9)		
	養護学校教員養成課程	20	20	0	20	11(11)	9(9)		
	幼稚園教員養成課程	30	30	0	30	20(20)	10(10)		
	情報教育課程	40	40	21	19	16(12)	24(7)		
計	240	240	74	166	140(109)	100(57)			
経 済	昼間主 コース	経 済 学 科	144	144	119	25	52(16)	92(9)	
		経 営 学 科	124	124	94	30	40(20)	84(10)	
		経 営 法 学 科	102	102	83	19	35(11)	67(8)	
		計	370	370	296	74	127(47)	243(27)	
夜間主 コース	経 済 学 科	20	20	13	7	13(4)	7(3)		
	経 営 学 科	20	20	16	4	15(3)	5(1)		
	経 営 法 学 科	20	20	19	1	8(1)	12(0)		
	計	60	60	48	12	36(8)	24(4)		
理 学	数 学 学 科	43	43	28	15	8(6)	35(9)		
	物 理 学 科	47	35	35	34	1	9(1)	26(0)	下段は 2次募集
			12	13	12	1	7(1)	6(0)	
	化 学 学 科	43	43	24	19	17(9)	26(10)		
	生 物 学 科	35	35	22	13	4(2)	31(11)		
	地 球 科 学 科	32	32	27	5	4(1)	28(4)		
計	200	201	147	54	49(20)	152(34)			
工 学	電 子 情 報 工 学 科	132	132	130	2	46(0)	86(2)		
	工 業 化 学 科	50	50	40	10	8(2)	42(8)		
	金 属 工 学 科	43	43	41	2	10(0)	33(2)		
	機 械 工 学 科	56	56	56	0	18(0)	38(0)		
	生 産 機 械 工 学 科	45	45	45	0	13(0)	32(0)		
	化 学 工 学 科	46	46	44	2	9(1)	37(1)		
計	372	372	356	16	104(3)	268(13)			
合 計	1,432	1,433	974	459	553(273)	880(186)			

注：()内は女子で内数である。入学者の県内・県外別の数は出身高校等所在地で分類している。

大学院

区	分	募集人員	入学者数	入学者内訳			
				男	女	県内	県外
人研 文科 学	日本・東洋文化専攻	5	8	4	4	1(2)	3(2)
	西洋文化専攻	5	4	3	1	(1)	3(0)
	計	10	12	7	5	1(3)	6(2)
理学 研究科	数学専攻	8	5	5	0	3(0)	2(0)
	物理学専攻	8	11	11	0	3(0)	8(0)
	化学専攻	10	6	6	0	3(0)	3(0)
	生物学専攻	8	10	8	2	1(0)	7(2)
	地球科学専攻	8	4	3	1	0(0)	3(1)
	計	42	36	33	3	10(0)	23(3)
工学 研究科	電気工学専攻	10	11	11	0	6(0)	5(0)
	工業化学専攻	10	13	12	1	3(0)	10(0)
	金属工学専攻	8	13	13	0	2(0)	11(0)
	機械工学専攻	10	7	7	0	4(0)	3(0)
	生産機械工学専攻	8	4	4	0	1(0)	3(0)
	化学工学専攻	8	12	12	0	5(0)	7(0)
	電子工学専攻	8	12	12	0	7(0)	5(0)
	計	62	72	71	1	28(0)	44(0)
合計	114	120	111	9	39(3)	73(5)	

(注) ()内数字は女子で外数を示す。

専攻科

区	分	募集人員	入学者数	入学者内訳			
				男	女	県内	県外
教育	専攻科	5	4	0	4	3	1
経済学	専攻科	10	0	0	0	0	0
	計	15	4	0	4	3	1

平成元年度学部等学生数
(元. 5. 1現在)

学部(学年別)

学部	学科(課程)	入学定員		総定員	一般教育課程						専門教育課程						合計					
		61. 62人	63人		元入	1年		2年		3年		4年		合計		男	女	計				
						男	女	計	男	女	計	男	女	計	男				女	計		
人文学部	人文学科	95	95	95	31	64	95	37	65	102	197	32	67	99	33	82	115	214	133	278	411	
	語文学科	95	95	95	22	73	95	24	73	97	192	14	89	103	20	82	102	205	80	317	397	
	計	190	190	190	53	137	190	61	138	199	389	46	156	202	53	164	217	419	213	595	808	
教育学部	小学校教員養成課程	140	100	100	29	71	100	41	83	124	224	29	110	139	37	108	145	284	136	372	508	
	中学校教員養成課程	50	50	50	24	26	50	37	37	74	124	27	36	63	19	30	49	112	107	129	236	
	養護学校教員養成課程	20	20	20	20	20	20	4	14	18	38	1	16	17	2	17	19	36	7	67	74	
	幼稚園教員養成課程	30	30	30	30	30	30	30	27	27	57	25	25	25	30	30	30	55		112	112	
	情報教育課程	40	40	40	21	19	40	10	30	40	80								31	49	80	
	計	240	240	240	74	166	240	92	191	283	523	57	187	244	58	185	243	487	281	729	1010	
経済学部	経済学科	144	144	144	120	25	145	142	19	161	306	118	21	139	145	20	165	304	525	85	610	
	経営学科	124	124	124	98	33	131	108	27	135	266	90	38	128	125	31	156	284	421	129	550	
	経営法学科	102	102	102	83	19	102	92	24	116	218	83	20	103	85	19	104	207	343	82	425	
	小計	370	370	370	301	77	378	342	70	412	790	291	79	370	355	70	425	795	1289	296	1585	
	夜間	20	20	20	13	7	20	11	11	22	42	14	2	16	13	4	17	33	51	24	75	
	経営法学科	20	20	20	16	4	20	22	6	28	48	13	4	17	9	7	16	33	60	21	81	
	小計	20	20	20	19	1	20	21	3	24	44	16	2	18	13	3	16	34	69	9	78	
	小計	60	60	60	48	12	60	54	20	74	134	43	8	51	35	14	49	100	180	54	234	
	小計	430	430	430	349	89	438	396	90	486	924	334	87	421	390	84	474	895	1469	350	1819	
理学部	数学科	43	43	43	28	15	43	38	12	50	93	38	11	49	34	17	51	100	138	55	193	
	物理学科	47	47	47	46	2	48	50	1	51	99	67	4	71	27	2	29	100	190	9	99	
	化学科	43	43	43	24	19	43	26	19	45	88	39	22	61	21	22	43	104	110	82	192	
	生物学科	35	35	35	140	22	13	35	29	13	42	77	29	15	44	24	7	31	75	104	48	152
	地球科学科	32	32	32	28	5	32	35	7	42	74	33	3	36	30	4	34	70	125	19	144	
	計	200	200	200	147	54	201	178	52	230	431	206	55	261	136	52	188	449	667	213	880	
工学部	電子情報工学科				132	132	2	134											132	2	134	
	電気工学科	53	56		162		61	2	63	63	62	62		62	52	1	53	115	175	3	178	
	工業化学科	48	50	50	196	40	10	50	8	62	112	54	3	57	44	4	48	105	192	25	217	
	金属工学科	43	43	43	172	41	2	43	52	52	95	51	51	51	46		46	97	190	2	192	
	機械工学科	53	56	56	218	56		56	65	65	121	60	1	61	53		53	114	234	1	235	
	生産機械工学科	43	45	45	176	45		45	50	1	96	51	1	52	48		48	100	194	2	196	
	化学工学科	43	46	46	178	44	2	46	59	59	105	50	1	51	38	4	42	93	191	7	198	
	電子工学科	43	46	46	132		58	1	59	59	59	66	66	38		38	104	162	1	163		
	計	326	342	372	1366	358	16	374	399	12	411	785	394	6	400	319	9	328	728	43	1513	
	計	1386	1402	1432	5606	981	462	1443	1126	483	1609	3052	1037	491	1528	956	494	1450	2978	4100	1930	6030

大 学 院

研 究 科	専 攻	入学 定員	総定員	1 年 次			2 年 次			合 計		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
人文学研究科	日本・東洋文化専攻	5	10	4	4	8	6	3	9	10	7	17
	西洋文化専攻	5	10	3	1	4	3	2	5	6	3	9
	計	10	20	7	5	12	9	5	14	16	10	26
理学研究科	数 学 専 攻	8	16	5		5	4		4	9		9
	物 理 学 専 攻	8	16	11		11	14		14	25		25
	化 学 専 攻	10	20	6		6	3	2	5	9	2	11
	生 物 学 専 攻	8	16	8	2	10	3		3	11	2	13
	地 球 学 専 攻	8	16	3	1	4	10		10	13	1	14
	計	42	84	33	3	36	34	2	36	67	5	72
工学研究科	電 気 工 学 専 攻	10	20	11		11	10		10	21		21
	工 業 化 学 専 攻	10	20	12	1	13	8		8	20	1	21
	金 属 工 学 専 攻	8	16	13		13	9		9	22		22
	機 械 工 学 専 攻	10	20	7		7	8		8	15		15
	生 産 機 械 工 学 専 攻	8	16	4		4	10		10	14		14
	化 学 工 学 専 攻	8	16	12		12	7		7	19		19
	電 子 工 学 専 攻	8	16	12		12	9		9	21		21
	計	62	124	71	1	72	61		61	132	1	133
合 計	114	228	111	9	120	104	7	111	215	16	231	

専 攻 科

専 攻 科	専 攻	入学定員	男	女	計
教育専攻科	教 育 専 攻	5		4	4
経済学専攻科	経 理 経 営 専 攻	10			0
合 計		15	0	4	4

平成元年度聴講生、研究生数
(元. 5. 1現在)

学 部	聴 講 生			研 究 生			備 考
	男	女	計	男	女	計	
人文学部	2	5	7	2	1	3	
教育学部	2	3	5	1	2	3	
経済学部				1	1	2	
理学部				1		1	
工学部	6		6	1		1	
教養部	1		1		1	1	
合 計	11	8	19	6	5	11	

学部卒以上	11	7	18	6	5	11	
上記以外		1	1				
合 計	11	8	19	6	5	11	

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 第一共同印刷株式会社
富山市太郎丸1220-2
電 話 (21) 0196